

高輪築堤の全面保存を! 日本最古の海上鉄道遺構です

日本の鉄道は、
「汽笛一聲新橋を はや我汽車は離れたり 愛宕の山に入りのこる 月を旅路の友として」
「右は高輪泉岳寺 四十七士の墓どころ 雪は消えても消えのこる 名は千載の後までも」
「窓より近く品川の 臺場も見えて波白く 海のあなたにうすがすむ 山は上総か房州か」
と、鉄道唱歌にも歌われているように、明治5年9月12日(1872年10月14日)に新橋駅(汐留)から横浜駅(桜木町)までの区間を開業したことに始まり、開業150周年を迎えます。
高輪築堤は、日本で最初に鉄道が開通した際に、石組などの日本の築城技術も活用して造られた、日本最古の海上鉄道遺構であり、世界でも珍しい海上築堤です。鉄道の運行にあたり危険な箇所に設置された日本最古の信号機(当時は「合図柱」)の基礎部分の跡も発見されています。
高輪築堤は、国定史跡の新橋停車場に連なる日本鉄道開業路線の稀有な遺構であり、日本鉄道の歴史そのものです。文化財的価値の高い海上に築かれた高輪築堤を全面保存し、国民の財産として後世に残すことが求められています。

日本最古の海上鉄道遺構 高輪築堤の全面保存を求めます

氏名	住所	募金

【私たちが賛同します】

- 大西 広 (慶應義塾大学 名誉教授)
- 岡田 三郎助(東京23区いしずえ会 会長)
- 菊池 誠一(元 昭和女子大学 名誉教授)
- 菊池 久 (港区在住)
- 染谷 ふみ子(港区在住)
- 東海林 次 男(東京都歴史教育者協議会 会長)
- 山岸 良 二(習志野市文化財審議会 会長)

高輪築堤の全面保存を求める会
〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館 7F
港区労働組合総連合(略称:港区労連) 気付
電話 03(3446)0423(呼)(FAX 兼用)
Mail: takanawatikutei@gmail.com